

ながぬま

迎春



新年のご挨拶



代表理事組合長 成田 正夫

新年あけましておめでとうございます。組合員皆さまにおかれましては、ご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より農協事業に対しまして、特段のご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。令和2年、3年と新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、経済活動も徐々に回復に向けて進めておりますが、新たな変異株の感染などもあり、まだ予断を許すことなく感染防止対策を講じながら令和4年の各種事業の推進に努めてまいりますのでご理解を賜りたく存じます。

さて、令和3年度の営農実績では積雪は少なく、春先から農作業は順調に行われましたが、4月から5月の断続的な降雨により、ほ場の乾燥が進まない中では種・移植作業となり、また、6月上旬には強風で一部のハウス等に被害もありました。その後は高温多照で、降水量は少なく、結果一部作物で収穫量・品質に影響が

あったものの、概ね各作物において順調に収穫作業が行われました。

水稻の作況指数「南空知107」（北海道108）で「良」となり、米の館の受入は計画以上で、量・質共に良く、「ゆめぴりか」の基準品米（低タンパク7.4以下）が83.5%となる状況であります。しかしながら、米の需給環境はコロナ禍のなかで、令和2年産米の持越在庫などから米価下落の状況を招いております。

小麦は施設受入計画対比116%となり、秋まき小麦の粗原料反収で10.7俵、製品反収で9.7俵となりました。出穂後の気温は高く降水量が少なく推移したこと細麦が懸念されましたが、一穂粒数も平年を上回ったことから品質・収量は平年を上回る状況となりました。大豆も施設受入計画対比122%で、5480トンの受け入れをいたしました。は種作業が1か月間程の作業となり、夏場の干ばつなどの影響が懸念されましたが、順調に生育も

進み収量増加となりました。自主検査では品位Ⅰ（1〜2等格）が4割、品位Ⅱ（3等〜特定加工）が6割程度となる見込みで1月末までの施設調整を進めてまいります。

野菜については、高温・干ばつの影響から多くの品目において、減収や品質が不安定となり販売額は計画を下回りました。一方、ブロッコリーは、新施設での稼働となり、衛生面と労働環境が格段に向上し整備されたことから、予冷库の有効活用と、製氷機の利用により市場関係者や量販店から高評価を得ており、さらなる増産に向けた取組み要請がされました。

農畜産物全体の販売額については、昨年度実績程度の79億円を見込んでおります。令和3年11月16日にJA北海道大会が開催されました。第30回JA北海道大会は「改革プラン」の策定以降、取組んできた不断の自己改革をさらなる高みに到達させるべく取進めていく大会と位置付けております。

現状、コロナ禍を端に、国民の間では食料安全全保障への関心の高まりやデジタル技術を活用した生活様式や働き方など、新たな動向が生まれています。特に、デジタル化は2021年3月にデジタル技術を活用して農業経営の発展を目指す「農業DX構想」が策定され、2021年9月にデジタル庁が創設されるなど、今後は官民の諸手続きやサービスのデジタル化が急速に進展することが見込まれます。

さらに、2030年の実現を目指すSDGsの達成に向けて、農業の生産性向上と持続性の両立を掲げる「みどりの食料システム戦略」の法制化

賀正

二〇二二年元旦

ながめま農業協同組合

代表理事組合長	成田 正夫
専務理事	柴田 佳夫
常務理事	飛谷 博秀
総務・経済対策委員長	服部 正幸
営農委員長	小野 功
総務・経済対策副委員長	川口 学志
営農副委員長	北 弘 治
理事	福島 幸二
理事	越路 昌隆
理事	石尾 大介
理事	松井 昭洋
理事	健名 和哉
理事	吉田 満

代表 監事	川崎 喜昭
常勤 監事	松本 豊
監事	大橋 敏央
監事	中原 久勝
管理部 長	大和田 健
金融部 長	波川 浩己
経営相談部長	岩崎 徹
営農部 長	森 正 敏
販売部 長	山村 範人
販売部 長	高嶋 良幸
資材部 長	細川 秀樹
内部監査室 審査役	松村 裕二
管理部 審査役	高瀬 好之
販売部 審査役	仁 和 貴也
管理部 次長	富澤 和幸
営農部 次長	氏家 真吾
販売部 次長	村井 忠夫
営農 サルタント	阿部 秀幸
営農 サルタント	外職 員 一同

方針や2030年の温室効果ガス46%削減目標（2013年度対比）等を盛り込んだ「2050年カーボンニュートラル」を打ち出すなど日本も新たな国際的な価値観に共鳴して持続可能な社会の実現に向けて企業や団体の違いを問わず、その目標達成に向けた貢献が求められています。一方、信用・共済事業をはじめとしたJA経営を取巻く事業環境への対応など、北海道農業、JAグループ北海道を取巻く環境も急激に変化しております。この社会・経済の環境変化を組合員皆様と共有し、今後3年間の展望やJA経営の取巻く環境を踏まえ、JAグループ北海道が一丸となって実践すべき事項を関係者の意識・目線を統一することと決議されました。今後、JAなごめまも持続可能な「JA経営の好循環」に向けて取組んでまいりますので組合員皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

農協は、「組合員の組織」であり、自らが出資をし、自らが事業を利用することで総合農協として、組合員個々の経営に寄与するものであります。合わせて地域社会に貢献することを目的とする組織であります。この理念の実現に向けて組合員皆さまと役員・職員が共有しながら、長沼農業の価値を高め魅力あるものにするために、関係機関と連携し事業推進に取組んでまいりますので引き続きご指導ご協力の程よろしくお願いたします。

結びに、本年が災害のない豊かで実り多き明るい年となること、新型コロナウイルスの一日も早い収束と組合員皆さまのご健勝をご祈念申し上げます。

年頭にあたり



北海道農業協同組合中央会
代表理事会長 小野寺 俊 幸

新年あけましておめでとうございます。組合員並びに役員の方には、コロナ禍にあつてもその苦境にも負けず、日々営農にさらに邁進されておられることと存じます。

また、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対しても、改めて敬意と感謝を申し上げる次第であります。

昨年の本道農業につきましては、春先は天候に恵まれ順調に推移したものの、7月～8月にかけての長期間の猛暑や少雨による干ばつ、また、9月に発生した雹や大雨により、一部の地域や作物によっては、生育が大変、心配されたものの、おおむね平年作を確保することができ

ました。

しかしながら、一昨年から引き続き、新型コロナウイルスとの戦いが長期化し、今までの日常とは大きく変化した1年でありました。農業分野においても例外ではなく各種イベントの自粛、外食の需要減少等の影響により、各作物の消費に大きな影響が出ています。

今後は作物ごとの実態を踏まえた、国産・道産農畜産物の需要喚起・消費拡大を図るとともに、外国人技能実習生が入国にも影響があり、農作業の人材確保にも大きな課題となっておりますので、北海道、全国連とも連携し、JAGグループ北海道としてしっかりとその対応を図ってまいります。

昨年は第30回のJA北海道大会を開催し、「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある地域社会』の達成」という将来ビジョンが決議されました。

コロナ禍やデジタル化への対応、SDGsへの貢献、信用・共済事業をはじめとしたJA経営を取り巻く事業環境への対応など、北海道農業、JAグループ北海道を取り巻く環境が急激に変化しており、このような環境に適切に対応するには、改めて、協同組合運動の原点である「対話」を通じて、実践方策を設定し、実践と改善をくり返すことで、変化の波をJA運営に取り込んでいくことが必要であり、組合員・役員が一丸となつてしっかりと取組んでいくことが重要となります。

結びになりますが、本年は壬寅年です。十干の「壬」は陽気を下に宿すという意味を持っており、生命の誕生を宿す意味を表します。一方、十二支の「寅」にも壬と同様で、草花が伸びようとする状態を表しています。この謂われにあり、本年が豊穡の年となること、新型コロナウイルスの1日も早い終息と皆様のご健勝をご祈念申し上げます。

新年のご挨拶



空知農業改良普及センター
空知南西部支所

支所長 関 崎 雅 行

新年明けましておめでとうございます。令和4年の新春を皆様のご健勝で迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

また、日頃より農業改良普及センターの活動に対し、ご協力いただきありがとうございます。昨年は融雪期がほぼ平年並でしたが、その後の天候が良く、春作業は順調に行われました。

また、作物の生育期間も全般的に気温が高く、少雨傾向で推移したため、水稻の南空知作況指数は107となり収量・品質ともに良く、低蛋白米率も高い年となりました。

畑作物では小麦が2年連続で多収となり、品質も良く、大豆も種時期の違いによるほ場間差が多少見られましたが、平年並の収量を確保することができました。

園芸作物ではプロッコリーが2年続けて販売

額8億円を突破しましたが、各作物とも高温・少雨の影響を受け、加えて販売価格が伸び悩むなど厳しい年となりました。

作物による違いはありましたが、経営全体では良い年となり、これも皆様の日々積み重ねてきた努力の結果であり心より敬意を表します。

農業・農村を取り巻く環境は、新たな地域的な包括的経済連携(RCEP)の発効や石油価格の高騰、水田活用の直接支払交付金の見直しやSDGsへの貢献など新たな対応しなければならぬ課題が多くあります。皆で知恵を出し合い、協力して取組んでいきましょう。

どのような状況下においても「しっかりと準備を行い」、「消費者が求める安全で良品の農畜産物を安定生産し続ける」ことが大切です。また、昨年は販売価格が低下した作物も多く、



経営費を見直すなど所得確保に向けた取組みも必要です。

普及センターも皆様の生産活動を支援するため、関係機関と連携し、各種試験による現地実証や様々な情報提供、地域を支える担い手の育成や省力化技術の普及に力を入れて取組んでいきます。

新型コロナウイルスの感染者数は減少していますが、今後も一人一人がしっかりと感染対策を実施し、その中で徐々に行動範囲を広げ、消費拡大へとつながることを期待しています。

令和4年も皆様のご健勝で営農を行い、実り豊かな年となりますようにご祈念申し上げます。新年のご挨拶いたします。

青年部 勉強会開催



12月13日、農協大会議室にて青年部勉強会が開催されました。内容は『農業協同組合の歴史と特徴』についてJA北海道中央会岩見沢支所 小松主査より、『農業経営者として必要なこと』『営農計画書の重要性について』はJAながめ 柴田専務理事よりご説明いただきました。青年部員からはテーマに沿った多くの質問があり大変有意義な勉強会となりました。



女性部へ『夢馬追スパークリング酒』贈呈

12月10日、女性部へ当組合事業活動に對しての感謝とお礼を兼ねて令和3年度新酒『夢馬追スパークリング酒』を女性部全員へ贈呈しました。成田代表理事組合長から「本年のお米は収量・品質とも最高に美味しいお米が収穫されました。新米長沼産ゆめびりかで新酒が出来ましたのでご家族の皆様で新酒の味をご賞味ください」と話されました。



米が収穫されました。新米長沼産ゆめびりかで新酒が出来ましたのでご家族の皆様で新酒の味をご賞味ください」と話されました。



「地区懇談会」を開催

12月2日から7日の5日間、地区懇談会が開催されました。本年の懇談会は新型コロナウイルス感染症拡大防止並びに組合員皆様の健康を第一に考慮し、感染のリスクをできるだけ低減するため、広い会場として農協大会議室、北長沼会館、南長沼会館を会場とし、参加された組合員、青年部、女性部やご家族の皆様方にはマスクの着用、アルコールでの手指の消毒にご協力いただいた中での開催となりました。

農協からは、令和4年度事業計画、農業振興計画の概要などを説明させていただき、参加された方々から農協事業への「質問やご意見をいただきました。

今後とも組合員の「農業所得の向上」や「担い手の育成」に向け、農協経営の健全性や組合員、地域の方々に安心してご利用いただける組合づくりに取り組んでまいります。



農業者年金巡回相談会開催

農業者年金受給待期者を対象とした「農業者年金巡回相談会」を次のとおり開催いたします。

Q：これから農業者年金を受給する予定だけの手続きは？

Q：今、農業者年金はどうなっているのか？

参加を希望される方は、左記事項をご留意のうえJAながめま経営相談課までお申し込みください。

開催日時 令和4年1月28日(金) 午後1時30分～(午後1時受付開始)

開催場所 JAながめま 2階 第1会議室

参加申込 令和4年1月14日(金)までに経営相談部 経営相談課(TEL 88-2229)までお申し込みください。

△開催にあたってのお願い▽

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、次の点にご留意ください。

①マスクの着用、手洗い・手指のアルコール消毒の励行をお願いします。

②受付時に参加者の体調、体温の聞き取りを行いますのでご協力ください。

③新型コロナウイルス感染症の状況によりましては、開催の延期や中止とさせていただきます。また、定員(20名)に達したときは参加申込を締め切る場合がありますので、あらかじめご承知ください。

女性部 フレッシュユミズ活動 後継者育成研修旅行



女性部フレッシュユミズ部会(工藤梢会長)では、12月9日に部員19名で日帰り研修旅行を開催いたしました。コロナ禍での営農や子育てを頑張った、ごほうびの研修旅行。久々の部員交流の場でしたので、会話も弾みました。また、立ち寄ったサーモンファクトリーや道の駅では家族へのお土産もたくさん購入し、楽しい1日を過ごすことができました。

営農用石油特別価格対策の実施について

燃料センター系統石油事業では、営農コストの低減を図るため、農業用免税軽油と米麦乾燥などの農業用灯油について、特別対策を実施しております。令和3年度につきましても、取扱実績に対して、次の通り値引き修正をもって、特別価格対策を実施いたしましたのでお知らせいたします。12月15日付で、各々のクミカンまたは普通貯金に修正経理いたしました。

品名	免税軽油	農業用灯油
対象期間	4月1日～11月30日	7月1日～11月30日
値引修正(1ℓ当り)	4円	4円



お問い合わせ (株)FAMO長沼 燃料センター TEL 88-2015

幅広い補償でアクティブなあなたの日常生活をサポートします!

保険金の種類	保険金をお支払いする場合	保 険 金 額	
		基本プラン	充実プラン
偶然な事故(天災を含みます)により、ケガをされたり、お亡くなりになったとき			
ケガ(傷害)	傷害死亡保険金	120万円	240万円
	傷害後遺障害保険金(第1級～第3級限定)	60万円	120万円 <small>熱中症・食中毒・特定感染症補償付</small>
	傷害部位・症状別保険金	3,000円	3,600円 <small>熱中症・食中毒・特定感染症補償付</small>
「ごめんなさい」ではすまないとき			
個人賠償責任保険金(示談交渉サービス付)	被保険者が次の偶然な事故により、他人にケガをさせたこと、他人の物を壊したこと、または自転車等の運行不能について法律上の損害賠償責任を負担することによって損害を被った場合に保険金をお支払いします。 ●被保険者ご本人の居住の用に供される住宅の所有・使用・管理に起因する偶然な事故 ●被保険者の日常生活に起因する偶然な事故	1億円	2億円
外出先で持ち物が壊れたり、盗難にあったとき			
携行品損害保険金(自己負担額 3,000円)	被保険者の居住の用に供される住宅外で被保険者が携行する被保険者所有の身の回り品が偶然な事故により損害を被った場合に保険金をお支払いします。	20万円	20万円
ひき逃げ・通り魔・ストーカーなどにより、ケガをされたり、お亡くなりになったとき			
被害事故補償保険金	人の生命または身体を害する意図をもって行われた行為やひき逃げにより、被保険者が死傷された場合に保険金をお支払いします。	2,000万円	2,000万円
損害賠償請求について、弁護士に相談したいことがあるとき			
弁護士費用保険金	日本国内において発生した偶然な事故(被保険者の居住の用に供される住宅に発生した事故および被保険者の日常生活で発生した事故)によって被保険者が被った次の被害について、被保険者(死亡した場合はその法定相続人)が法律上の損害賠償を請求する場合や法律相談を行う場合に、弁護士費用や法律相談費用を負担することによって損害を被った場合 ●被保険者が被った身体のケガ ●被保険者が所有、使用または管理する財物の損壊およびこれらに起因して被保険者が被る経済的損失 (注)自動車または原動機付自転車の所有・使用・管理により発生した事故を除きます。	300万円	300万円
法律相談費用保険金	●被保険者が所有、使用または管理する財物の損壊およびこれらに起因して被保険者が被る経済的損失 (注)自動車または原動機付自転車の所有・使用・管理により発生した事故を除きます。	10万円	10万円
自然災害で被災生活を余儀なくされたとき			
災害生活支援費用保険金	被保険者の居住する建物が被災者生活再建支援法に規定する自然災害によって全壊または全壊と同等の被害を受けた場合に保険金をお支払いします。	—	100万円
年間保険料		15,800円	21,000円

プラス オプションで補償します

ホールインワン・アルバトロス費用保険金	被保険者が日本国内のゴルフ場でゴルフ競技中にホールインワンまたはアルバトロスを達成された場合に保険金をお支払いします。	20万円 (年間オプション保険料 2,110円)
---------------------	---	-----------------------------

- 補償開始日時時点で被保険者ご本人の年齢が満80歳(※)未満の方にご加入いただけます。
 - ご継続は、補償終了日時時点で被保険者ご本人の年齢が満99歳(※)まで、脱退のお申し出がない限り自動的に継続されます。
 - ホールインワン・アルバトロス費用保険金を補償する他の保険契約等がある方、およびゴルフの競技・指導を職業としている方は、オプションにご加入いただくことができません。
- (※) 共栄火災の今後の傷害保険金のお支払状況等によって、加入できる上限年齢の引上げまたは引下げをさせていただく場合があります。
- 「個人賠償責任」「携行品損害」「被害事故補償」「弁護士費用・法律相談費用」「災害生活支援費用」および「ホールインワン・アルバトロス費用」の補償内容と同様の保険契約(異なる保険種類の特約や共済等を含みます。)が他にある場合、補償が重複することがあります。ご加入に際しては、補償内容の差異や保険金額、ご加入の可否をご確認ください。
- このチラシは概要を説明したものです。補償内容は、JA安心倶楽部/インプレット(PE113000)とあわせてご覧ください。なお、ご不明な点につきましては、取扱代理店または共栄火災営業店にお問い合わせください。

ご相談・お問い合わせは…
(取扱代理店)

(引)受保険会社

JAグループ
共栄火災海上保険株式会社
本社 / 〒105-8604 東京都港区新橋1-18-6
ホームページ <https://www.kyoeikasai.co.jp/>

PE113200「20.06改ID B20-0558-20210624

新型コロナウイルス対応 ㊦㊧
2019年10月以降保険始期用

安心をひとつの保険にパッケージ

JA 安心倶楽部

標準傷害保険



「JA安心倶楽部」は、仕事、趣味、レジャーなど日常生活でケガをされた場合に、24時間、日本国内外を問わず補償するJA組合員とご家族専用の傷害保険です。ケガだけではなく、日常生活や住宅の所有に関わる賠償責任や、カメラを落として壊してしまったときなど、持ち物(携行品)の損害も補償する総合補償型の保険商品です。

JA安心倶楽部の特長は…

POINT 24時間、日本国内・国外を問わず補償
ケガだけではなく、賠償責任や携行品の損害も幅広く補償します。



POINT 充実プランなら、新型コロナウイルス感染症や熱中症・食中毒も補償
充実プランにご加入いただくと新型コロナウイルス感染症、熱中症、ノロウイルス、0-157などの特定感染症による重度の後遺障害や入院・通院も補償します。



POINT 天災によるケガも補償
地震・噴火またはこれらによる津波によってケガをされた場合やお亡くなりになった場合も補償します。



POINT 個人賠償責任保険金は示談交渉サービス付き
日本国内においてご家族*が加害者となる賠償事故の場合には、共栄火災の専任スタッフがご家族に代わって示談交渉を行います。
*ご家族とは、被保険者ご本人、その配偶者、ご本人またはその配偶者の「同居のご親族」および「別居の未婚のお子さま」をいいます。



POINT そのほか、日常生活を取り巻くさまざまなリスクを補償
ひき逃げ、通り魔、ストーカーなどにより、ケガをされたり、お亡くなりになったときの治療費・休業損害・逸失利益や、ケガ・財物の損壊について損害賠償を請求するときの弁護士費用・法律相談費用を補償します。また、充実プランでは、自然災害により被災されたときの臨時宿泊費、引越費用、住宅を賃借する際の礼金・仲介手数料等の費用も補償します。



POINT 「ホールインワン・アルバトロス費用」をオプションで補償
オプションにご加入いただきますと、日本国内のゴルフ場でホールインワンまたはアルバトロスを達成されたときの贈呈用記念品購入費用、祝賀会費用、ゴルフ場に対する記念植樹費用などをお支払いします。



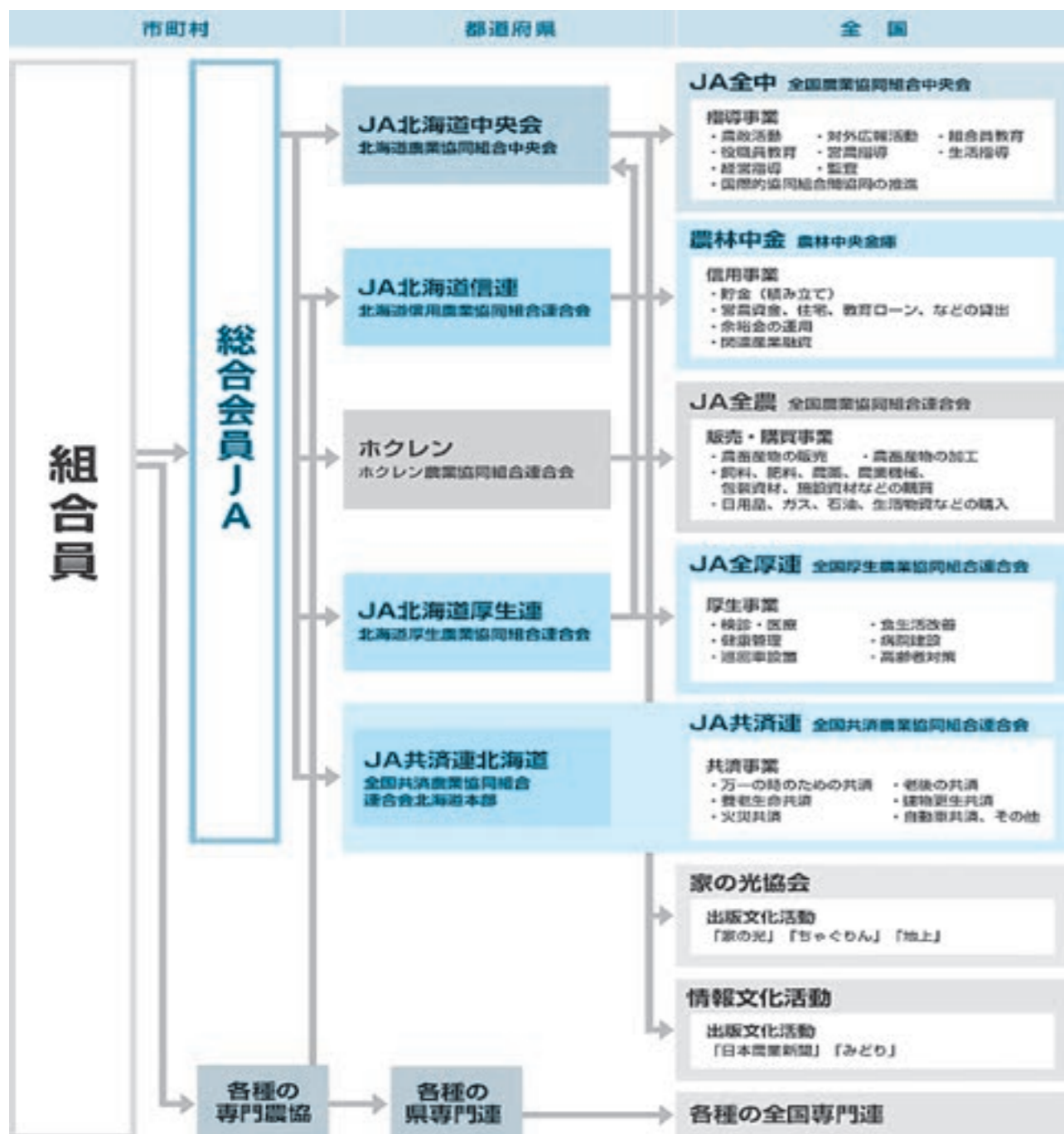
JAグループ
共栄火災

JAグループの組織について

令和3年11月に第30回JA北海道大会が開催されました。大会はコロナ禍を端に社会・経済の変化が加速する中、今後3カ年を展望し、JAを取巻く事業環境に対応するべく組合員・JA・連合会が意識・目線を統一するための大会として位置づけております。このことから改めてJAグループの組織・機構についてお知らせいたします。

北海道内には全道一円に総合JA（農協）があります。北海道の農業を支える組合員の営農や生活をサポートし、地域の方々にもご利用いただいております。JAは様々な事業を総合的に行なっていますが、それぞれの事業を効率的・効果的にすすめていくため、指導・経済・信用・共済などの事業ごとに、専門的にサポートするためJA連合会等による事業組織が形づくられ「JAグループ」として活動しています。

JAグループの組織図



JAグループ通信

JA北海道中央会



JAグループ北海道では、令和3年11月16日に、第30回JA北海道大会を開催いたしました。本大会は、グループの基本方針を確認し関係者の意識を統一することを目的に、3カ年に1度、全道から組合員の皆さんの代表者が札幌に集まり開催しているものです。

今回の大会では、グループの将来ビジョン“北海道550万人※と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある地域社会」”を実現すべく、令和4～6年度におけるグループの基本目標として、「JA運営の好循環に向けて対話の成果を実践」「JA運営の好循環を支える人づくり・JA経営の強化」が定められました。

本決議をもとに、組合員・JA・連合会一丸となって、JA運営のスパイラルアップに繋がるよう取り組みましょう。

※550万人とは、「道民」と「北海道にゆかりのある道外の方々」のことを指します。



↑大会実行委員長挨拶を述べる中央会小野寺会長

JA北海道信連



特殊詐欺被害については、新聞・テレビなどで連日報道されている通り、新たな手口が拡がるなど大きな社会問題となっています。JAバンク北海道では、11月～1月にかけて、道内のJAバンク店舗でご来店者に対する声かけ運動を行うとともに、STVラジオでオリジナルコーナーを設け、北海道警察の専門家から、詐欺の手口や気を付けるポイントを説明いただくなど、啓発活動に取り組んでいます。JAバンクでは、引続き北海道警察と連携し、特殊詐欺被害の撲滅に向け取り組んでまいります。



JA共済連北海道



JA共済連では、地域社会貢献活動の一環として、昭和50年から毎年道内各市町村の消防本部に救急車を寄贈しております。今年度の寄贈台数は3台であり、十勝地区の中札内消防署、留萌地区の羽幌消防署、上川地区の上富良野消防署に寄贈いたします。当年度の救急車の寄贈が完了しますと、寄贈させていただきました台数は累計で212台となります。今後も行政とJAとの連携を図りながら、組合員ならびに地域住民に安心と安全の提供を続けるように努力してまいります。



ホクレン



ホクレンは、北海道日本ハムファイターズと共同で取り組んでいる「北海道農業応援プロジェクト」の一環として、10月1日に札幌ドームで開催された北海道日本ハムファイターズ vs 埼玉西武ライオンズ戦に協賛し、「ホクレン北海道農業応援ナイター」として試合が行われました。試合観戦に訪れた来場者に向けて北海道農畜産物のPRや農業への理解を深めてもらおうと特設ブースを設置。ホクレン大収穫祭などのチラシを配布するほか、大型ビジョンでCM放映を行うなどPR活動を行いました。



JA北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓発推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。本号ではプレゼント企画も行っております。QRコードからWeb上で閲覧・応募が可能となっておりますので、ぜひご応募ください。



↑ Web上の閲覧・応募はこちらから

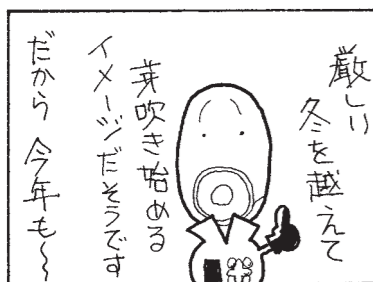
JAグループ北海道の連合会の活動内容をご紹介します。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

大地がひとを強くする。

AGRIACTION!

HOKKAIDO

01 営農プラン



『営農計画樹立』は 家族ぐるみで!

本年も営農計画を樹立する時期となりました。この時期にじっくりと営農計画に取組み基本方針を立てることが最も重要であり、また、各作物の生産性向上や気象条件などによる危険分散することも考慮し、作付品目などを計画する必要があります。

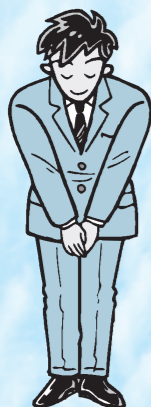
今年度の営農計画書作成にあたっては前年度の実績を踏まえ、肥料・農薬等の生産資材の効率的利用、コスト低減と経費の節約に努め家族ぐるみで実行可能な計画を樹立し経営の発展に努めていただきたいと思います。

なお、営農計画書の提出期日は2月10日までとなっておりますので、期日を厳守し提出してくださいませようお願いします。



お問い合わせ 経営相談部 経営相談課
TEL 88 - 2229

資材センターからのお知らせ



先日地区懇談会において説明させていただきました、令和4年春取り肥料の予約注文書は12月中旬にお届けしています。
不安定の肥料情勢の中、必要数量の把握と供給時期の確認を第一の目的としていますので、何卒よろしくお願いたします。
まだ、提出されていない方は早めの提出をお願いします。

お問い合わせ 資材部 営農資材課 TEL 88 - 2307

わたしのよい食は、みんなのよい食に、つながっている。

みんなのよい食プロジェクト

自分と家族のために。農業と地域のために。わたしたち一人ひとりにできる「よい食」があります。それは、持続可能な社会や環境にわたしの「よい食」にもなります。あなたも「よい食」してみませんか?

わたしと家族に「よい食」

- 朝からしっかり食べて一日を元気にスタート
- よく噛んで食べて体や脳の働きを活発に
- 栄養バランスを考えて毎日健康な食生活を
- 楽しく手づくりで食材への愛も深まる
- 「旬」のものを食べると美味しく栄養たっぷり
- 料理を工夫して食材をムダなく使う

農業と地域に「よい食」

- ファーマーズマーケットを利用して地産地消
- 国産の農畜産物を食べて日本の農業を応援
- 農業体験などに参加して農業の大切さを学ぶ
- 農業まつりなどに参加して地域の食や文化を学ぶ

持続可能な社会・環境に「よい食」

- 食料自給率アップに貢献
- 海外からの輸送によるCO2排出を削減
- 食品ロスを削減
- 地域の活性化を実現
- 農業・農村の持つ多面的機能を守る
- 飢餓ゼロの世界に向けて貢献

「よい食」はSDGsの実現にも貢献

みんなのよい食プロジェクトを応援しているよ、よろしくね!

美味ちゃん 7歳・小学2年生 口ぐせ「パク」

さあ今日から、わたしのよい食、はじめよう! /

「みんなのよい食プロジェクト」のサイトはこちらをご覧ください。

JAグループ

理事会報告 - 第13回 -

《令和3年12月17日開催》

[議案]

- 第1号 第3四半期自治監査講評
- 第2号 内国為替手数料の改定について
- 第3号 令和4年度営農計画に係る農産物価格の設定について
- 第4号 組合員の出資減口について
- 第5号 事業推進員会議の開催について
- 第6号 令和3年度決算見込みについて(11月末現在)
- 第7号 令和4年度内部監査計画の策定について
- 第8号 年末賞与の支給について

[報告事項]

1. 会議・行事報告について
2. 組合員の加入及び脱退の状況について
3. 利益相反取引の実行報告について
4. 活力ある職場づくりに向けた労働環境に係る自主点検の取組みについて
5. その他

以上、すべての議案について審議し原案通り承認されました。

今月の組合員数 (前月比)

組合員 1,582名(-5)
 正組合員 810名(-4)
 准組合員 772名(-1)
 正組合員戸数 643戸(±0)



農協の動き 11/24~12/17

11月

24~26日	農業用廃プラスチック回収	於 麦バラ施設
24日	空知管内農協組合長会議	於 岩見沢市
26日	粃バラ施設運営協議会	於 農 協
26日	事業推進員会議	於 農 協
29~12月1日	みのり監査法人期中Ⅱ監査	於 農 協
30日	長沼町常勤者会議	於 町 内

12月

1日	J A 女性部生活懇談会	於 農 協
2~7日	地区懇談会(農協・北長沼会館・南長沼会館)	於 町内3ヶ所
7日	空知地区J A 共済推進委員会	於 空知農業会館
7日	J A バンク北海道空知地区委員会	於 空知農業会館
7日	空知管内J A 全体常参総会議	於 空知農業会館
9日	役員改選地区代表者会議	於 農 協
10日	全道共計運営委員会	於 札 幌 市
10日	北海道農協畑作・青果対策本部委員会	於 札 幌 市
13日	J A 青年部研修会	於 農 協
14日	長沼町歳末警戒パトロール	於 町 内
15日	空知管内農協組合長会議	於 空知農業会館
17日	総務経済対策委員会	於 農 協
17日	監事会	於 農 協
17日	理事会	於 農 協

2022
1月4日 火

初売りの

あさ10時から

Aコープながめま店